

Alibaba Cloud CSK 容器服#Kubernetes版

開発者ガイド

Document Version20200221

目次

1 クラスター API 呼び出し方法.....	1
1.1 概要.....	1
1.2 共通パラメーター.....	1
1.3 リクエスト構造.....	3
1.4 リターン結果.....	4
1.5 署名.....	4
2 クラスター API 一覧.....	9
2.1 ノードの削除.....	9
3 CLI を経由した Container Service の使用.....	11
3.1 全クラスターの表示.....	11
3.2 Kubernetes クラスターの作成.....	11

1 クラスター API 呼び出し方法

1.1 概要

Container Service API インターフェイスの呼び出しを実行するには、**HTTP** リクエストを **Container Service API** のサーバーアドレスに送信し、リクエストに対応するリクエストパラメーターをインターフェイスからの指示に従って追加します。リクエストの処理結果に応じて、システムから結果が戻されます。

1. 共通パラメーター
2. リクエスト構造
3. リターン結果
4. 署名

1.2 共通パラメーター

パブリックリクエストヘッダー

パブリックリクエストパラメーターは、各インターフェイスが使用しなければならないリクエストパラメーターです。

パラメーター	説明	オプション
許可	リクエストの妥当性を検証するための認証情報 (形式: AccessKeyId:Signature)	必須
コンテンツ長	HTTP リクエストのコンテンツ長。 RFC 2616 で定義されています。	必須
コンテンツタイプ	HTTP リクエストのコンテンツタイプ。 RFC 2616 で定義されています。	必須
コンテンツ MD5	HTTP メッセージ本文の 128 ビット MD5 ハッシュ値から変換された Base64 エンコード結果。リクエストの改ざん防止のため、このメッセージをすべてのリクエストに追加することを推奨します。	必須

パラメーター	説明	オプション
日付	リクエストの作成時間。現在、 GMT 形式のみサポートされています。作成時間と MNS サーバー時間の差が 15 分を超えている場合、無効なリクエストが返されます。	必須
ホスト	ホストアクセス値 (例: diku.aliyuncs.com)	必須
同意	クライアントから要求される戻り値の型。"pplication/json" と "application/xml" がサポートされています。	必須
x-acss バージョン	API のバージョン。現在のバージョンは "2015-12-15" です。	必須
x-acss リージョン ID	リージョンは、 Elastic Compute Service (ECS) インスタンスの物理的な位置を示します。	必須
x-acss 署名 nonce	ネットワークリプレイ攻撃を防止するために使用される一意の乱数。リクエストごとに異なる乱数を使用する必要があります。	必須
x-acss 署名方式	ユーザー署名の方法。現在は、HMAC-SHA1 のみに対応しています。	必須

例

```
GET /clusters HTTP/1.1
Host: cs.aliyuncs.com
Accept: application/json
User-Agent: cs-sdk-python/0.0.1 (Darwin/15.2.0/x86_64;2.7.10)
x-acss-signature-nonce: f63659d4-10ac-483b-99da-ea8fde61eae3
Authorization: acs ACSbW2iBbyX0Pk9N:mp/6Wdr18V3qAc5gbgsqMe/iB0c
x-acss-signature-version: 1.0
Date: Wed, 16 Dec 2015 11:18:47 GMT
x-acss-signature-method: HMAC-SHA1
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-Acs-Region-Id: cn-beijing
```

```
Content-Length: 0
```

パブリックレスポンスヘッダー

インターフェイスの呼び出しリクエストを送信するたびに、リクエストが成功したかどうかにかかわらず、一意の識別子 (リクエスト **ID**) が返されます。

例

XML の例:

```
<? xml version="1.0" encoding="UTF-8"? >
<!--Result root node-->
<Interface name=response>
  <!--Return request tag-->
  <RequestId>4C467B38-3910-447D-87BC-AC049166F216</RequestId>
  <!--Return result data-->
</Interface name=response>
```

JSON の例:

```
{
  "RequestId": "4C467B38-3910-447D-87BC-AC049166F216"
  /* Response data */
}
```

1.3 リクエスト構造

サービスアドレス

Alibaba Cloud Container Service API のアクセスアドレスは "**cs.aliyuncs.com**" です。

通信プロトコル

システムは、**HTTP** または **HTTPS** チャンネルを使用してリクエスト通信をサポートします。セキュリティ強化のため、リクエストを送信する際には **HTTPS** チャンネルの使用することを推奨します。

リクエスト方式

PUT、**POST**、**GET**、**DELETE** などの **HTTP** メソッドを使用して、さまざまなリクエストを送信します。

リクエストパラメーター

各リクエストには、パブリックリクエストパラメーターと、特定の操作に固有のリクエストパラメーターを含める必要があります。

リクエストエンコーディング

リクエストと返される結果は、どちらも **UTF-8** 文字セットを使用してエンコードされます。

1.4 リターン結果

API サービスが呼び出された後、統一された形式でデータが返されます。返された **HTTP** ステータスコードが "2xx" という形式になっていれば、呼び出しは成功です。返された **HTTP** ステータスコード "4xx" または "5xx" という形式の場合、呼び出し失敗です。呼び出しが成功すると、データは主に **XML** と **JSON** の2つの形式で返されます。リクエスト送信時、外部システムは、返されるデータの形式を定義するパラメータを渡すことができます。デフォルトの形式は **XML** です。

このドキュメント内のリターン結果例は、見やすいように形式を整えています。実際のリターン結果は、改行や字下げなどの調整はされていません。

1.5 署名

はじめに

Access Key ID と **Access Key** シークレットは **Alibaba Cloud** によって公式に発行されます (**Alibaba Cloud** 公式サイト上で、申請と管理が可能です)。**AccessKeyID** は、ユーザーの身元を識別するために使用されます。**Access Key** シークレットは、署名文字列を暗号化し、サーバー側で署名文字列を検証するために使用されるキーです。ユーザーは **Access Key** シークレットの機密を保持する必要があります。ユーザーと **Alibaba Cloud** だけが、**Access Key** シークレットを知ることができます。

Container Service は、受信した各アクセスリクエストを検証します。したがって、**Container Service** に送信されるすべてのリクエストに、署名情報が含まれている必要があります。**Container Service** は、**Access Key ID** と **Access Key** シークレットを使用して対称暗号化を実行し、リクエスト送信者の身元を検証します。算出された確認コードが、送信されたものと同じであれば、リクエストは有効とみなされます。それ以外の場合、**Container Service** はリクエストを拒否し、**HTTP 403** エラーを返します。

HTTP リクエストに認証ヘッダーを追加して署名情報を格納し、メッセージが承認されていることを示すことができます。

Container Service では、Authorization: `acs [Access Key ID]:[Signature]` の形式で **HTTP** ヘッダーに署名を含める必要があります。

Signature の計算方法は次のとおりです。

```
Signature = base64(hmac-sha1(VERB + "\n"
    + ACCEPT + "\n"
    + Content-MD5 + "\n"
    + Content-Type + "\n"
```

```
+ DATE + &quot;\ n&quot;;  
+ CanonicalizedHeaders + "\n"  
+ CanonicalizedResource))
```

- VERB は、**HTTP** メソッドを示します (例: PUT)。
- Accept は、クライアントが要求する戻り値の型を示します。 **application/json** または **application/xml** を指定できます。
- Content-MD5 は、要求されたコンテンツの **MD5** 値を示します。
- Content-Type は、要求されたコンテンツのタイプを示します。
- Date は操作時間を示します。 **null** にはできません。 現在、**GMT** 形式のみがサポートされています。 リクエスト時刻と **CAS** サーバー時刻の差が **15** 分を超えると、**CAS** はリクエストを無効とみなし、エラー **400** を返します。 詳細については、5 番目のセクションをご参照ください。 例: Thu, 17 Mar 2012 18:49:58 GMT
- CanonicalizedHeaders は、**HTTP** リクエスト内の **x-acs-** で始まるフィールドの組み合わせを示します。
- CanonicalizedResource は、**HTTP** リクエスト内のリソースのユニフォームリソース識別子 (**URI**) を示します。 たとえば、 `/clusters? name=my-clusters&resource=new` です。



注:

署名検証の前に、CanonicalizedHeaders (**x-acs-** で始まるヘッダー) の次の仕様に準拠してください。

1. **x-acs-** で始まるすべての **HTTP** リクエストヘッダー名を、小文字に変換します。たとえば、`X-ACS-Meta-Name: TaoBao` を `x-acs-meta-name: TaoBao` に変換します。 リクエストヘッダー名は、**Alibaba Cloud** の仕様に従って、大文字と小文字が区別されません。 ただし、小文字を使用することを推奨します。
2. パブリックリクエストヘッダーの値の部分が長すぎる場合、`\t`、`\n`、`\r`、`\f` のセパレータを空白に置き換えます。
3. 前述のステップで取得し、**Alibaba Cloud** の仕様に準拠しているすべての **HTTP** リクエストヘッダーを辞書式昇順にソートします。
4. リクエストヘッダーとコンテンツの間のセパレーターの両側にある空白をすべて削除します。たとえば、`x-acs-meta-name: TaoBao,Alipay` を `x-acs-meta-name:TaoBao,Alipay` に変換します。
5. すべてのヘッダーとコンテンツを `\n` セパレーターで区切り、最終的な **CanonicalizedHeaders** を作成します。

**注:**

CanonicalizedResource のフォーマット仕様: CanonicalizedResource は、ユーザーがアクセスするリソースの標準的な説明を示します。サブリソースとクエリを辞書式昇順にソートし、&セパレーターを使って区切り、サブリソース文字列 (? の後のすべてのパラメーター) を生成します。

```
http://cs.aliyuncs.com/clusters?name=my-clusters&resource=new
```

CanonicalizedResource のフォーマットは以下の通りです。

```
/clusters? name=my-clusters&resource=new
```

署名の例

概要

次の例は、署名プロセスを示しています。

このページの例では、**Access Key ID** と **Access Key** シークレットは、それぞれ `access_key_id` と `access_key_secret` になります。次の例のように、独自の **API** 呼び出しプログラムを使用して、署名文字列を計算することを推奨します。次に、署名文字列とサンプルの結果を比較します。

リクエストの例は次のとおりです。

```
POST http://cs.aliyuncs.com/clusters?param1=value1&param2=value2 HTTP/1.1
Accept-Encoding: identity
Content-Length: 210
Content-MD5: 6U4ALMkKSj0PYbeQSHqgmA==
x-acss-version: 2015-12-15
Accept: application/json
User-Agent: cs-sdk-python/0.0.1 (Darwin/15.2.0/x86_64;2.7.10)
x-acss-signature-nonce: fbf6909a-93a5-45d3-8b1c-3e03a7916799
x-acss-signature-version: 1.0
Date: Wed, 16 Dec 2015 12:20:18 GMT
x-acss-signature-method: HMAC-SHA1
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-Acs-Region-Id: cn-beijing
Authorization: LOG <yourAccessKeyId>:<yourSignature>
{"password": "Just$****", "instance_type": "ecs.m2.medium", "name": "my-test-cluster-9708****", "size": 1, "network_mode": "vpc", "data_disk_category": "cloud", "data_disk_size": 10, "ecs_image_id": "m-253l****l"}
```

リクエスト作成プロセス

Content-Length と Content-MD5 を計算します。

Content-Length: コンテンツ本文の長さ



注:

サンプル本文の先頭には、スペースや改行はありません。

```
body: {"password": "Just$****", "instance_type": "ecs.m2.medium", "
name": "my-test-cluster-9708****", "size": 1, "network_mode": "vpc", "
data_disk_category": "cloud", "data_disk_size": 10, "ecs_image_id": "m-
253ll****"}
Content-Length: 210
```

Content-MD5: MD5 計算プロセス

```
body: {"password": "Just$****", "instance_type": "ecs.m2.medium", "
name": "my-test-cluster-9708****", "size": 1, "network_mode": "vpc", "
data_disk_category": "cloud", "data_disk_size": 10, "ecs_image_id": "m-
253ll****"}
# Calculate the MD5 value of the body.
md5(body): e94e002cc90a4a3d0f61b790487aa098
# Convert the MD5 value to a byte array. Convert every two hexadecimal
symbols of the MD5 value to a byte.
# For example, e9 -> 1111111111111111111111111111101001 -> -23
bytes(md5(body)): {[-23], [78], [0], [44], [-55], [10], [74], [61], [
15], [97], [-73], [-112], [72], [122], [-96], [-104]}
# Convert the obtained byte array to a Base64 string.
base64(bytes(md5(body))): 6U4ALMkKSj0PYbeQSHqgmA==
Content-MD5: 6U4ALMkKSj0PYbeQSHqgmA==
```

CanonicalizedHeaders を処理します。

```
# List all headers started with 'x-acis-'.
x-acis-version: 2015-12-15
x-acis-signature-nonce: ca480402-7689-43ba-acc4-4d2013d9d8d4
x-acis-signature-version: 1.0
x-acis-signature-method: HMAC-SHA1
X-Acis-Region-Id: cn-beijing
# Convert the request name to lowercase letters, delete the spaces
at the beginning and end of each line, and sort the headers in the
lexicographically ascending order. Delete any space at either side of
a separator between request header and content.
# Note: No line break is in the last line.
x-acis-region-id:cn-beijing
x-acis-signature-method:HMAC-SHA1
x-acis-signature-nonce:fbf6909a-93a5-45d3-8b1c-3e03a7916799
x-acis-signature-version:1.0
x-acis-version:2015-12-15
```

CanonicalizedResource を計算します。

この例では、CanonicalizedResource の長さは 27 です。



注:

最初の行の末尾に \n (改行) があります。

```
/clusters? param1=value1&param2=value2
```

Signature を計算します。

SignatureString をアセンブルします。この例では、署名文字列の長さは 307 です。 \n (改行) は、最後の行を除くすべての行の末尾にあります。

```
POST
application/json
6U4ALMkKSj0PYbeQSHqgmA==
application/json;charset=utf-8
Wed, 16 Dec 2015 12:20:18 GMT
x-acs-region-id:cn-beijing
x-acs-signature-method:HMAC-SHA1
x-acs-signature-nonce:fbf6909a-93a5-45d3-8b1c-3e03a7916799
x-acs-signature-version:1.0
x-acs-version:2015-12-15
/clusters? param1=value1&param2=value2
```

Signature を計算します。

```
# Use Access Key Secret to encrypt the signature string. In the
example, the accessKeySecret is access_key_secret.
hmac-sha1(SignatureString): fee03d405e421ebaf514adec881038c4b313584d
# Convert the encrypted string to a byte array, similar to the Content
-MD5 calculation method.
# Convert the byte array into a Base64 string to get the final
signature string.
base64(bytes(hmac-sha1(SignatureString))): ZmVlMDNkNDA1ZTQyMWVl
YWY1MTRhZGVjODgxMDM4YzRiMzEzNTg0ZA==
Signature: ZmVlMDNkNDA1ZTQyMWVlYWY1MTRhZGVjODgxMDM4YzRiMzEzNTg0ZA==
```

完了です。

前述の処理の後、以下のように他のヘッダー情報を追加し、最終的な HTTP リクエストを作成します。

```
POST http://cs.aliyuncs.com/clusters?param1=value1&param2=value2 HTTP/
1.1
Accept-Encoding: identity
Content-Length: 210
Content-MD5: 6U4ALMkKSj0PYbeQSHqgmA==
x-acs-version: 2015-12-15
Accept: application/json
User-Agent: cs-sdk-python/0.0.1 (Darwin/15.2.0/x86_64;2.7.10)
x-acs-signature-nonce: fbf6909a-93a5-45d3-8b1c-3e03a7916799
x-acs-signature-version: 1.0
Date: Wed, 16 Dec 2015 12:20:18 GMT
x-acs-signature-method: HMAC-SHA1
Content-Type: application/json;charset=utf-8
X-Acs-Region-Id: cn-beijing
Authorization: LOG <yourAccessKeyId>:<yourSignature>
{"password": "Just$****", "instance_type": "ecs.m2.medium", "name": "
my-test-cluster-9708****", "size": 1, "network_mode": "vpc", "data_disk_
category": "cloud", "data_disk_size": 10, "ecs_image_id": "m-253l1****"}
```

2 クラスター API 一覧

2.1 ノードの削除

このドキュメントでは、**Kubernetes** クラスターからワーカーノードを削除する方法について説明します。



注:

- ・ ノードを削除すると、ポッドの移行が発生します。これは、ノードで実行されているポッドによって提供されるサービスに影響する場合があります。したがって、必要なサービスが少ない場合にのみノードを削除することを推奨します。
- ・ ノードを削除すると、意図しないリスクが生じる可能性があります。この操作を実行するときは、事前にデータをバックアップし、注意することを推奨します。
- ・ ノードの削除を開始すると、ノードはスケジュール不可能なステータスに設定されます。
- ・ ワーカーノードのみ削除できます。

リクエスト情報

リクエスト行 (**RequestLine**)

```
POST /clusters/{cluster_id}/nodes HTTP/1.1
```

リクエスト行パラメーター (**URI Param**)

パラメーター	データ型	必須/省略可能	説明
cluster_id	String	必須	ノードを削除するクラスターの ID 。

特別なリクエストヘッダー

無し。詳細については、「[パブリックリクエストヘッダー](#)」をご参照ください。

リクエストボディ (**RequestBody**)

```
{
  "nodes": "The nodes that you want to remove",
  "release_node": "Specifies whether to release the Elastic Compute Service (ECS) instances at the same time."
}
```

リクエストボディの説明

パラメーター	データ型	必須/省略可能	説明
Nodes	Array	必須	削除するノード。
release_node	Boolean	省略可能	ECS インスタンスを同時にリリースするかどうかを指定します。デフォルトでは、ECS インスタンスはリリースされません。

レスポンス情報

レスポンス行 (ResponseLine)

```
HTTP/1.1 202 OK
```

特別なレスポンスヘッダー (ResponseHead)

無し。詳細については、「[パブリックレスポンスヘッダー](#)」をご参照ください。

例

リクエストの例

```
POST /clusters/Cccfd68c474454665ace07efce924****/attach HTTP/1.1
<パブリックリクエストヘッダー>
{
  "password": "Hello1234",
  "nodes": [
    "i-xxxx",
    "i-yyyy"
  ]
}
```

レスポンスの例

```
HTTP/1.1 202 Accepted
<パブリックレスポンスヘッダー>
```

3 CLI を経由した Container Service の使用

3.1 全クラスターの表示

ここでは、**Alibaba Cloud Container Service for Kubernetes** で作成したすべてのクラスターを表示する方法について説明します。

API リクエストと応答

リクエスト形式

```
aliyun cs GET /clusters
```

応答結果

```
[
  {
    "agent_version": "string",
    "cluster_id": "string",
    "created": "datetime",
    "external_loadbalancer_id": "string",
    "master_url": "string",
    "name": "string",
    "network_mode": "string",
    "region_id": "string",
    "security_group_id": "string",
    "size": "numbers",
    "state": "string",
    "updated": "datetime",
    "vpc_id": "string",
    "vswitch_id": "string"
  }
]
```

3.2 Kubernetes クラスターの作成

このトピックでは、**Kubernetes** クラスターの作成方法について説明します。関連する API の詳細については、「[#unique_12](#)」、および「[#unique_13](#)」をご参照ください。

API リクエストとレスポンス

リクエスト形式

```
aliyun cs POST /clusters --header "Content-Type=application/json" --body "$(cat create.json)"
```

パラメーターの説明:

- `--header`: Content-Type を application/json として指定します。

- ・ `--body`: サーバーに送信されるコンテンツ本文です。コンテンツはローカルファイルから読み込み可能です。**JSON** 形式にする必要があります。`create.json` のコンテンツは次の通りです。

専用 Kubernetes クラスター

```
{
  "disable_rollback": "disable_rollback": "indicates whether to roll
back the cluster if the cluster creation fails",
  "name": "cluster name",
  "timeout_mins": cluster creation timeout,
  "cluster_type": "Kubernetes",
  "region_id": "region",
  "vpcid": "VPC ID",
  "master_vswitch_ids": "the IDs of VSwitches on Master nodes. You
must set three VSwitches that are located in different zones to ensure
high availability",
  "master_instance_types": "the types of ECS instances used by
Master nodes. You must set three instance types.",
  "master_count": "the number of Master nodes. Valid values: 3|5."
  "container_cidr": "pod Classless Inter-Domain Routing (CIDR) block
",
  "service_cidr": "service CIDR block",
  "ssh_flags": "enable SSH access over the Internet. Valid values:
true | false.",
  "cloud_monitor_flags": "install the CloudMonitor plugin. Valid
values: true | false.",
  "login_password": "password used to log on to cluster nodes by
using SSH. This parameter and the key_pair parameter are mutually
exclusive.",
  "key_pair": "the key pair used to log on to cluster nodes by using
SSH. This parameter and the login_password parameter are mutually
exclusive.",
  "master_instance_charge_type": "the billing method of Master node
instances. Valid values: PostPaid|PrePaid",
  "master_period_unit": "Subscription unit that includes Month and
Year. This parameter takes effect only for the PrePaid billing method
",
  "master_period": "Subscription period, which takes effect only for
the PrePaid billing method",
  "master_auto_renew": "enable Master node automatic renew. Valid
values: true | false.",
  "master_auto_renew_period": "Master node renew period",
  "master_system_disk_category": "Master node system disk type",
  "master_system_disk_size": "Master node system disk size",
  "master_data_disk": "mount data disks to the Master node. Valid
values: true | false.",
  "master_data_disk_category": "Master node data disk type",
  "master_data_disk_size": "Master node data disk size",
  "worker_instance_charge_type": "the billing method of Worker node
instances. Valid values: PostPaid|PrePaid",
  "worker_period_unit": "Subscription unit that includes Month and
Year. This parameter takes effect only for the PrePaid billing method
",
  "worker_period": "Subscription period, which takes effect only for
the PrePaid billing method",
  "worker_auto_renew": "enable Worker node automatic renew. Valid
values: true | false.",
  "worker_auto_renew_period": "Worker node renew period",
  "worker_instance_types": "Worker node instance types. ",
}
```

```

    "worker_vswitch_ids": "the IDs of VSwitches. The value range of
the number of VSwitches is 1 to 5.",
    "worker_system_disk_category": "Worker node system disk type",
    "worker_system_disk_size": "Worker node system disk size",
    "worker_data_disk": "mount data disks to the Worker node. Valid
values: true | false.",
    "worker_data_disk_category": "Worker node data disk type",
    "worker_data_disk_size": "Worker node data disk size",
    "num_of_nodes": "the number of Worker nodes",
    "snat_entry": "Configure an SNAT entry. Valid values: true | false.",
    "public_slb": "associate an EIP with the intranet SLB instance.
Valid values: true | false.",
    "cpu_policy": "static|none",
    "node_port_range": "value range of node ports. The default value
range is 30000 to 32767",
    "proxy_mode": "iptables|ipvs",
    "addons": "set addons. This is an array object.",
    "tags": "set tags for the cluster. This is an array object.",
}

```

ホスティング Kubernetes クラスター

```

{
  "disable_rollback": "indicates whether to roll back the cluster if the
cluster creation fails"
  "name": "cluster name"
  "timeout_mins": "cluster creation timeout"
  "cluster_type": "Managed Kubernetes"
  "region_id": "region."
  "vpcid": "VPC ID "
  "vswitch_ids": "the IDs of VSwitches. The value range of the number of
VSwitches is 1 to 5.",
  "container_cidr": "pod CIDR block"
  "service_cidr": "service CIDR block"
  "cloud_monitor_flags": "whether to install the cloud monitoring plugin"
  "login_password": "password used to log on to the node by using SSH.
Use either this parameter or the key_pair."
  "key_pair": "key pair name. use either this parameter or login_password
."
  "worker_instance_charge_type": "Worker node payment type that includes
PrePaid and PostPaid"
  "worker_period_unit": "Subscription unit that includes Month and Year.
This parameter takes effect only for the PrePaid payment type"
  "worker_period": "Subscription period, which takes effect only for the
PrePaid payment type."
  "worker_auto_renew": "whether to enable Worker node automatic renew.
Available values are true and false."
  "worker_auto_renew_period": "Worker node renew period"
  "worker_instance_types": "Worker instance types"
  "worker_system_disk_category": "Worker node system disk type"
  "worker_system_disk_size": "Worker node system disk size"
  "worker_data_disk": "whether to mount data disks to the worker node.
Available values are true and false."
  "worker_data_disk_category": "data disk type"
  "worker_data_disk_size": "data disk size"
  "num_of_nodes": "number of worker nodes"
  "snat_entry": "whether to set an SNAT entry"
  "public_slb": "associate an EIP with the intranet SLB instance. Valid
values: true | false.",
  "proxy_mode": "iptables|ipvs",
  "addons": "set addons. This is an array object.",
  "tags": "set tags for the cluster. This is an array object.",
}

```

```
}
```

サーバーレス **Kubernetes** クラスター

```
{
  "cluster_type": "Ask",
  "name": "indicates the name of a serverless Kubernetes cluster",
  "region_id": "indicates a region",
  "nat_gateway": "indicates whether to create a NAT gateway. Valid value
: true | false.",
  "private_zone": "indicates whether to enable PrivateZone for service
discovery in a VPC. Valid value: true | false.",
  "vpc_id": "indicates the ID of a VPC". If you do not set this
parameter, then the system automatically creates a VPC.
  "vswitch_id": "indicates a Vswitch ID"
}
```

レスポンス結果

```
{
  "cluster_id": "c61cf530524474386a7ab5a1c192****"
  "request_id": "348D4C9C-9105-4A1B-A86E-B58F0F875575"
  "task_id": "T-5ad724ab94a2b109e8000004"
}
```